

りんご黒星病防除の重要ポイント

（「ふじの落花20日後頃」まで重要な防除時期です！）

「ふじの落花10日後頃」の散布時期の目安は、
黒石、弘前、三戸で5月23～24日頃です。

薬剤防除作業及び防除上の注意点

- ◎ ふじの展葉1週間後頃から落花20日後頃までは、
薬剤散布間隔を守る（10日間隔以内）
- ◎ 散布予定日に降雨が予想される場合は、降雨前に
散布する
- ◎ 散布量は下表のとおり
- ◎ 薬液が十分付着するようできるだけゆっくり走行する
- ◎ 散布ムラがないよう散布コースを見直す



黒星病の発病葉（新梢葉）

散布時期	散布量(10a当たり)	基準薬剤
落花10日後頃 (5/23～24)	350リットル	チウラム剤 500倍 又は マンゼブ剤 600倍
落花20日後頃 (6/2～3)	420リットル	チウラム剤 500倍 又は マンゼブ剤 600倍

耕種的防除を徹底しよう！

りんご研究所（黒石）の殺菌剤を散布していないほ場では、5月9日に黒星病の初発が確認されました。

分生子による感染拡大を防ぐため、自園地の葉や果実、果柄等の状況を随時点検し、発生が見られたら、速やかに摘み取り処分を行いましょ！

◎ 生育期の被害葉・被害果の処理

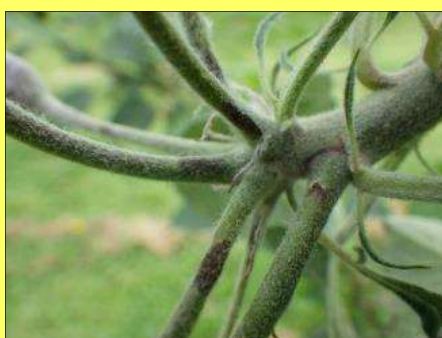
摘果作業などの際は、**被害葉・被害果の発生に十分注意して、見つけ次第、摘み取り処分**を行います。

作業の際にシートを敷いて集めたり、樹毎に小さな穴を掘って埋めるなど工夫している事例もあります。

【りんご黒星病の症状】



果そう葉／新梢基部葉



果柄



枝

黒星病防除の失敗事例

例年発生が多い園地では、

- ① 散布量が少なく、散布ムラが発生している
- ② 散布間隔が空きすぎている
- ③ 降雨前散布が徹底されていない

などの傾向が見られています。

予防薬剤のみの防除となるため、散布量・散布時期・散布間隔を守った薬剤散布を徹底しましょ！！

<りんご黒星病対策の問い合わせ先>

- ・ 県りんご果樹課 017-734-9492
- ・ (地独) 青森県産業技術センターりんご研究所 0172-53-6132
- ・ (公財) 青森県りんご協会 0172-27-6006
- ・ 最寄りの地域県民局農業普及振興室や農業協同組合